

はじめに

本書は移動式クレーン運転士の学科試験対策用の参考書です。

本書の構成は、前半第Ⅰ部が学科試験で出題される4科目のそれぞれ重要なポイントをまとめたテキストパートになっており、後半第Ⅱ部では年2回公表される試験形式の問題とその解説を収録した練習問題集となっています。公表問題は過去6回分を収録しています。

テキストの太字部分は、試験問題でよく穴埋めとして問われる部分です。前後の文と合わせてしっかり覚えましょう。

また、テキストパートにおいて「★よく出る!」マークのついた項目は、近年において特に出題頻度の高い傾向にありますので、重点的な学習をオススメします。

【本書の構成】

第Ⅰ部 移動式クレーン運転士テキスト (学科)

第1章 移動式クレーンに関する知識

第2章 原動機及び電気に関する知識

第3章 関係法令

第4章 移動式クレーンの運転のために必要な力学に関する知識

第Ⅱ部 練習問題集

第1回目 令和 4年 10月公表問題 (問題と解説)

第2回目 令和 4年 4月公表問題 (問題と解説)

第3回目 令和 3年 10月公表問題 (問題と解説)

第4回目 令和 3年 4月公表問題 (問題と解説)

第5回目 令和 2年 10月公表問題 (問題と解説)

第6回目 令和 2年 4月公表問題 (問題と解説)

移動式クレーン学科試験では、同じ範囲から繰り返し問題が出題される傾向にあります。つまり、要点を抑えて学習することが合格への近道だといえます。

合格ラインは全体で60点以上必要です。特に配点の高い、第1章と第2章の知識問題は確実に解けるよう、繰り返し重点的に学習しておくことをオススメします。一方で、各科目4割の正答率が必要なので、いずれにせよ、まんべんなく学習する必要はありますが(科目免除者を除く)、試験の際に“関係法令”と“力学”をのぞむうえで、気持ちに余裕が生まれるはずですよ。

また、試験では必ず問題文をよく読んで、小さな間違いを見逃さず、焦らないでゆっくり解きましょう。

繰り返しテキストを読み、過去問を解いて自信をつけてください!

クレーン運転士学科試験 編集部